

交野市教委ニュース

第239号（令和6年11月25日発行）

～交野市が大阪大学D3センターと連携協定を結びました～



11月19日（火）に大阪大学D3センターにて、連携協定締結式が執り行われました。締結式には、交野市から山本市長、北田教育長が参加し、大阪大学D3センターからは降旗 大介センター長と大平 健司准教授が参加されました。

昨年度から始まった『I DAY阪大生』の取り組みでは、交野市の子どもたちにスーパーコンピュータを見せていただいたり、世界の様々な言語の学習機会をいただいたり、大学内の図書館を見学させていただくなど、学校の授業では学習できない貴重な体験をさせていただきました。

降旗センター長からは、「交野市の子どもたちに学びの機会を提供することは、小・中学生からの刺激を受けることにつながり、大阪大学にとっても大変ありがたいことである。」とお言葉をいただきました。

協定書に署名後は、記念撮影を行いました。また、締結式終了後には、スーパーコンピュータの「SQUID」の見学を行いました。

今後も『I DAY阪大生』の取り組みをはじめとして、様々な取り組みを共にしながら、子どもたちが最先端の学問に触れて将来の夢や希望を持つきっかけとなるような活動を展開して参ります。

大阪大学D3センター（大阪大学HPより抜粋）

大阪大学は、教育、研究、経営の多方面にわたりデータを活用して、さまざまな社会課題を解決しようとする「データ駆動型大学」を目指しています。この取組を強力に推進するため、学内学外にわたる情報基盤の構築と運用を長年にわたり支えている「サイバーメディアセンター」と、データビリティによる新たな科学の方法、すなわちデータによる研究DXを探究する「データビリティフロンティア機構」とを核とした新しい組織「D3センター」を2024年10月1日に創設いたしました。